

ウオッチング多摩ニュース

第75号

2016年4月20日
ウオッチング多摩の会

議会変革の期は熟した

多摩市は行政・議会において市民と共に「多摩自治基本条例」「多摩市議会基本条例」をいち早く制定しました。その理念はとても誇りに思えるものです。

立派な条例と生活実態に乖離が大きく、議会の有り様に疑問を抱く市民は少なくないでしょう。

その象徴として、条例前文には「情報公開」がしっかりと謳われ、議会は公開されネット中継があり、資料は「行政資料室」にあり、「ホームページ」でのネット公開なども行われています。しかし誰もが簡単に活用できる情報公開環境が整っているとは言えません。遅きに失した感があります。これまでの蓄積によりようやく、誰もが情報を活用できる環境は整いつつあります。その要因として以下のことが挙げられます。

行政基本データ・新公会計システムの

オープン化

国も自治体もオープンデータを進め、多摩市においても「新制TAMA・行財政刷新プ

時代に対応した議会運営を！

3月定例議会、傍聴市民の願い

すぐにもできる議会改革を！

10年1日の如く変わらぬ議会

3月予算決算議会は予定通り順調に終わりました。

順調につつがなく終わったからといって、今の議会運営がこのままでいいのか。変化・進化のないことに忸怩たる思いを持つ議員は少なくないでしょう。議員席からもそんな声が漏れ聞こえます。お決まりの一般質問の質疑では、変化した多摩市、変化せざるを得ない多摩市といいつつ、その議会対応は如何なものでしょうか。

官・民を問わず変化へ対応できなかった組織体がどんな結末を迎えるかは、歴史が証明しています。ましてやICTの進化は、ドッグイヤー以上の今日です。

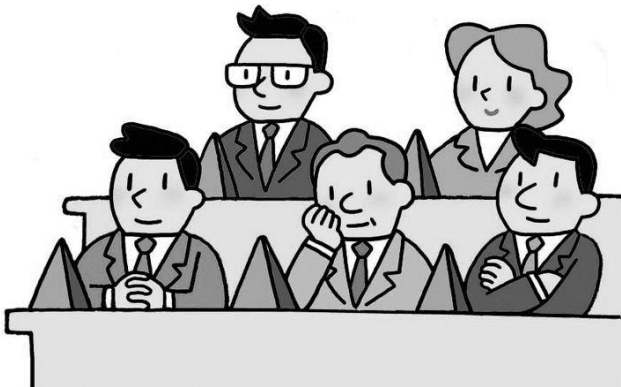
今号の特集

市議会にももの申す！

- ・明確な意思表示を多摩市議会に求む
- ・憤慨、ここに極まれり
- ・市議会への要望書

4ページ

ログラム」で主な取り組みとしてオープンデータの活用」を掲げ、市の保有する情報を一定のルールのもと二次利用が可能なデータ形式で公開し、新たなサービスの担い手を増やすとしています。加えて「新公会計システム」がスタートします。



議会は自己改革の力を持っている。いまこそ市民の声に応じて変革を成す時だ。

**先ずはICTによる
議会運営の率先垂範を**

市民も情報公開が身近なものとなり利用
者が増えると思いますが、先ずは議会運営に
率先垂範し活用されれば、その効果は絶大と
期待できます。

定例議会(本議会)の現状の問題点

- 通告一般質問(議員)
 - ……ペーパーの議場朗読の時間浪費。
 - 第一答弁(市長)
 - ……通告質問に対しペーパー朗読の時
間浪費。
 - 再質問(議員 vs 行政)
 - ……行政側との質疑応答、核心論議へ
至れず。
 - 議員の質問持ち時間
 - ……原則全議員(議長を除く) 25名
30分内/1人の在り方。
- ICTを活用した議会運営の刷新を**
- 通告質問・第一答弁は双方とも議会開催
前に論点をまとめた上で議場へ。
議場では論点にフォーカスした議論展
開する十分な時間を。
 - 議会で議員の発言でよく耳にする、「行
政への説明をお伺いします」は、まだし



も「教えてください」はないでしょう。
議場は勉強の場ではないはず。オープン
データの活用により事前に済ませ、その
上で議場での質疑・議論展開を。
○ 議員の資料要求はオープンデータ、新公
会計システムで可能なかぎり自ら用意
する。
* オープンデータ活用の要点としてDB
構築に紐付けなどの工夫で使いやすい
ものにする必要がある。
○ ICT化でプロジェクターなどを使用
した議会運営の効率化を。「こどもみら
い会議」の小中学生でもやっている。

期待効果

- 現状の朗読劇的に浪費される時間が省
ける。
- 論点を絞つての質疑・提案となるため熟
議可能な議会となる。
- 市職員の事務作業の軽減。
- 議員の率先垂範によるICT情報活用
で、市民との情報共有が行われることは、
課題である市民参画、市民協働の道筋の
スタートとなる。
- 情報リテラシーの向上こそ市民主役へ
の近道。

将来の多摩市創りの

政策的予算の位置づけを

↳ 修繕費・施設縮減予算ではなく↳

- 1 パルテノン多摩大規模修繕費は様々な
検討過程があつたようですが、都市計
画税充当により市の直接工事で従来手
法での方針となつた。概算予算は60
億円+α(10~20億円)が必要と
のこと。
- 2 図書館問題は中央図書館建設・地域館
の在り方など継続検討となつている。
桜美林大学アカデミーヒルズと暫定中
央図書館(旧西落合中学校跡地)建設

地の交換提案などもあり検討中。
 3 上記の案が成立すると桜美林大学の提案は旧西落合中学校跡地に小中学一貫校の設立となっている。

多摩市の身の丈以上の公共施設は築30年以上経過でその改修等に膨大な財源が必要とされ、公共施設の再配置行動プログラムが進められている。いずれにしてもその財源に頭を抱えていたところへ、都市計画税の充当が可能となったこと、また桜美林大学からのオファーにより中央図書館問題も条件を整えば財源的には明るい見通しとなりそう。パルテノンはどうあるべきでしょうか。財源問題で危機感を募らせられる市民は、修繕費、公共施設の縮減ありきの案ではなく、未来の多摩市の文化・芸術・教育都市創りへの投資となれば明るい気持ちになれる。

新中央図書館もこれを契機に多摩市全体としての構想を見直し、「知の拠点」「人と情報出合いの場」としてICTなどを駆使した多摩市全体としてとらえる新コンセプトとすれば地域館の問題など解決の道筋は得られ、トータルROI(投資対効果)は明白となる。
 多摩市に義務教育の小中一貫校が誕生することは素

市民14万人全員が
 ウォッチャーであり
 サポーター！

晴らしいことだ。この計画に当たっても土地・建物・財政が前提にはなるが、その前に他市には見られない、より魅力的な学校作りを望みたい。桜美林大学となると小学生から、リベラルアーツ、バカロレア的な教育環境など想像してみたくなる。
 少子高齢化で財政をどうするかは、次の多摩市創りのための政策予算としての戦略性を持つ位置づけとしてこそ市民の心も明るく前向きとなる。

データから見えるまちのかたち

平成28年予算

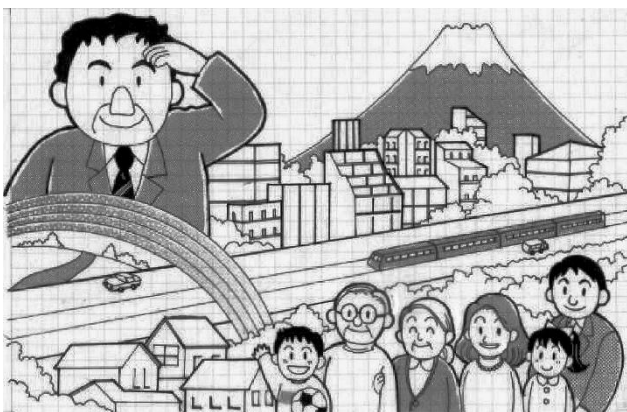
市民税 || 124・5億円
 固定資産税 || 132・6億円
 固定資産税 ↓ 評価額の1.4%
 都市計画税 ↓ 評価額の0.2%
 皆さん、ご自分の固定資産税と都市計画税を計算してみませんか。

パルテノンの修繕費に60億円、80億円を出せと言われると頭に血が上りますが、パルテノンをも人の賑わいを創出し、稼げる場として将来への投資と見たらどうでしょう。
 そのためには、入れ物の修繕以前に、まち創りの「場」としてリニューアルできる経営のプロが不可欠であり、建物だけが立派になっても……と思わざるを得ません。

ハード先行型ではまたまたお荷物を抱え、子どもたちに負の財産を残すことになりかねません。

まちの魅力が失われ、住む人が減ることは、家の資産評価額が失われ、結果として固定資産税、都市計画税も目減りし、負のスパイラルとなってしまう政策にはNOを！

文責：ウオッチング多摩の会
 代表 神津幸夫



今号の特集

市議会にももの申す!

投稿

明確な意思表示を

多摩市議会に求めて

〜ドン・キホーテを演じる〜

豊ヶ丘 大橋慶一

以前投稿した『市議会本会議での請願・陳情審議の七不思議』(『ウオッチング多摩』68号・2014年7月31日)の後日談と、今後のことである。

多摩市議会にはゴーストがいる

多数決とは、元々の提案に対して、賛否、あるいは、棄権の意志を表明することだ。
「つむぎ館・関戸公民館の存続を求める」(25陳情第8号)は、25人の議員の12票が「採択」、13票が「趣旨採択」だった。ところが、本会議の結果は、誰ひとり提案していない「不採択」になった。ということは、不採択を唱えたゴーストが多摩市議会にいたということだ。

多摩市議会はジョークが好き

趣旨採択だけではないが、多摩市議会の議

決の仕方は素人の私でも、おかしいと思うことが他にもいろいろあったので、政策提言として、「市議会での請願・陳情・政策提案の審議方法の改善についての市民政策提案・提言」(26政策提案第5号)を提出した。ドン・キホーテを演じることにしたのである。
提案説明の中で、問題の原因は、「趣旨採択」だと主張したのに、議会の返答は、その「趣旨採択」。多摩市議会は、ジョークがお好きと見える。

多摩市議会にもメンツはある

向こうがその気なら、こっちもこっちというわけで、次の議会に、「請願・陳情の審議における趣旨採択の再検討を求める請願」(27請願第1号)と、正面から、「趣旨採択」廃止の請願をした。

その提案説明の中で、「ジョークは、一度目は、笑いを誘うけれど、二度目になると、笑い者になりますね。」と捨て台詞を入れておいた。感受性はまだ少しは、残っているようで、「趣旨採択」の再検討をという請願を、多摩市議会は、「趣旨採択」でごまかさないと、きちんと「不採択」にした。やっぱり、メンツはあるんだ。



「趣旨採択」は

「不採択」とほとんど同義語

字面から、「趣旨採択」は、「採択」に準ずるような印象があるが、行政も、市長も、議会も、「趣旨採択は、ほとんど、不採択に等しい」という理解を共有している。そうでないのは、市民だけである。

実例を挙げる。「東寺方図書館の存続を求める陳情」(26陳情第17号)は、趣旨採択になった。趣旨採択とは、どういう意味ですかという市民の電話での質問に対し、市役所の担当課長は、「趣旨採択とは、バツということですよ。」と堂々と答えた。

また、採択になった「豊ヶ丘複合館(図書館・学童クラブ・児童館・老人福祉館・地区市民ホール)の存続を求める陳情」(25陳情第16号)に関して、市長は、様々の集会で、1票差でそうなってしまったが、そんな僅差で重要なことが決まっていたが、そんな僅差で、恨み言を繰り返している。13票の採択と、12票の趣旨採択で、不採択は誰もしなかったのに、1票差といわれるのは、市長は、趣旨採択は不採択と考えておられるからだろうか。

また、議会も、先に挙げた「陳情・政策提案の審議方法の改善」を趣旨採択にしたのに、その後、改善に向けて、何か検討をした痕跡

はない。やはり、あれは、不採択だったということだろう。

多摩市議会は近隣自治体からも

遅れている

どの部分がいいのか、ダメなのかもいわないで、その場しのぎで逃げているうちは、進歩はない。近隣では、八王子市、町田市、日野市の市議会には、そもそも、趣旨採択という選択肢はない。国立市は、3年前、趣旨採択を廃止した。また、稲城市は、趣旨採択の他に、範囲を明確にした一部採択がある。

ドン・キホーテは考える

現状の不備を指摘しているだけでは、進歩につながらない。どのようなまちにしたなら、住みやすいまちになるのか、その理想を実現するために、建設的な議会になってほしい。ドン・キホーテは、根本的な作戦変更を検討している。



憤慨、「こ」に極まれり

平成28年2月1日

多摩市長 殿

市議岩永ひさか 殿

若手市議各位 殿

多摩市民の一人

多摩市諏訪在住 山田裕四

記

2 市長は何をしているのだ。市の職員は何をしているのか。若手議員は勉強していないのかと。

3 私は数年前「子供居場所作り(?)委員会」の委員を担当し、市の職員が新しい業務を増やすことを極度に嫌うのを見聞して驚き、一方市議会を傍聴して、与党の年長議員が居眠り、野次る暴徒であるのを目撃したので、議員歳費を返上せよとウオッチング紙に投稿した。

4 子育て世代向けツアーの募集が「10組」とは驚きである。

5 若手議員は、上記の市長および市職員のことども騙しのような企画に対抗した政策を勉強して提示すべきである。

6 それにはウオッチングの代表がほめている岩永市議の報告書を参照されたい。

7 ついでながら、今思いつくニュータウン再生策を付記すると

1 パルテノン南の芝生公園の一角に「児童図書館(遊び場所併設)」を建築する。

2 諏訪、永山、貝取各団地の商店街の空

が立ちました。
以上の記事を読んで私は驚くとともに腹

入会申込書

氏名
住所
電話・FAX
メールアドレス

■会費・カンパ振込先■

みずほ銀行多摩センター支店 1197246
「多摩市議会ウオッチングの会」

■申し込み■

「ウオッチング多摩」の会 代表 神津幸夫
〒206-0034 多摩市鶴牧3-14-2-102 042-372-9496
HP: <http://watching-tama.com/>

★入会金は必要ありませんが、会報発行等の活動維持のために年会費2000円を頂いております。

- 3 閉鎖小中学校跡地に「私立の中高一貫校」を誘致する。
- 4 その建設資金は国、都より補助金の支援を受ける。
- 5 テレビ新聞広告に「0歳保育児の待機児をゼロとし、中高教育の充実を目指す多摩市」とする。
- 6 多摩センターのコリア内に「丸善が開店中売り場面積1200坪、販売本約70万冊、多摩市内に書籍の殿堂ありと宣伝すべし。

市議会への要望書

多摩市議会議長 萩原重治 殿

議会のネット中継についての改善要望

平成27年9月よりYouTubeによるインターネットでの生中継が始められたことは、自治基本条例の情報共有、及び議会基本条例の趣旨である市民に開かれた議会とするために大変有効な措置であった。しかるに視聴市民の数が少なく、尚且つ市民からの苦情が寄せられなかったことを良いこととして機器の設置から今日まで中継映像は、固定カメラ(本会議場は2台、委員会室は1台)のみでの撮影で、議場の議員諸兄の姿は殆ど後ろからのカメラの映像のみ。しかも画像の解像度が悪く、質疑を行う議員や理事者の表情もよく見えない。さらに音声の同調の仕方も悪く、音声が途切れたり、聞き取れない場面もある。肝心の発言内容も記録するのに困惑する始末である。

これではネット中継をやっていますというアリバイづくりにすぎず、市民に開かれた議会は名ばかりではないのか。

固定カメラを移動カメラとして議員と理事者の丁々発止のシーンをアップで撮影しライブの迫力を上げて頂きたいが、そこまでの要求は酷であろう。せめて、固定カメラの台数を増やして本会議場に3台、(質問者、答弁者に各1台、議席全体を議長席から見渡せる1台)。委員会室にも1台、委員会室は委員長側から説明者側を映す1台、を増設して欲しい。その際、既設カメラの解像度を上げ議員各位の表情が読み取れるものにしてほしい。議場での晴れ舞台での迫真の演技を市民は期待し、ネット中継の視聴者を増やし、真に市民に開かれた議会の実現を図ってほしい。その際、音声面の改善もしつかり行ってほしい。特に委員会室の音声は雑音が多いのと一部映像との同調が不良で音飛びが多い。これは至急に改善してほしい。記録をとることが出来ない状況だ。

開かれた議会を実のあるものにするため、こうした改善策を早急に実施して市民参加・参画の機会をキチンと保証してもらいたい。

以上、ウオッチング多摩の会からネット中継の改善策として要望いたします。議長におかれましては要望の趣旨をご理解のうえ文書にて回答をお願い致します。

永山 元山隆